

参加費無料

 FUSE ×  光産業創成大学院大学

起業・新規事業創成を目指している人へ
それを支えようとする人へ

FUSEアカデミア × 光産業創成大学院大学

このフォーラムは、

- (1) スタートアップに果敢に挑戦する人材の発掘・育成
- (2) それを支えるエコシステム創成

について考える機会として、企画・開催します。

ものづくりの街浜松の地で、どのようなエコシステムがあれば、

起業・新規事業創成を加速できるか？を議論できる場にしたいと考えています。

第5回

2023

11

Mon

13

時間：18:30 - 20:00

会場：FUSE イベントスペース

定員：50名

第5回

世界へ羽ばたけ「ものづくり」

浜松のものづくりの価値を高める、戦略、ブランディング、マネジメント

第5回講師 / ピーター・ドラッカー経営大学院 教授

山脇 秀樹 (やまわき ひでき)

11 / Mon
13

時間 : 18:30 - 20:00

会場 : FUSE イベントスペース

定員 : 50名



講演内容

このフォーラムに興味を持ってくださる方々は、浜松といえば、自動車、バイク、楽器、光・電子産業を思い浮かべられると思います。試しに“浜松といえば”とググってみてください。えっ、これかと驚く名産品が現れるはず。浜松のイメージはものづくりではなく、温暖で自然豊かなのです。同様に、燕・三条両市、関市、鯖江市を検索すると、それぞれの工業製品の産地として紹介されています。江戸時代から続く工業を継続・発展させている地方都市です。産地としてのブランディングは「良いものを高く売る」に貢献しこれらの都市のイノベーションに成功しているように見えます。ブランディングの難しい多様性のあるものづくりの街である浜松のイノベーションには、別の戦略が必要であることは明らかです。

今回のフォーラムの講師をお願いする山脇教授(ドラッカー経営スクール・カリフォルニア州)には、国内外の「工業製品産地」と浜松の違いや、「浜松といえば」というブランディングの必要性を解析いただきます。その結果、浜松のものづくりの“のびしろ”を実感していただけたと思います。「浜松といえば」のものづくりの街としてのブランディングが、「世界の課題解決のものづくりの街」として成長するためのヒントをいただけたと思っています。

講師略歴

東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。ハーバード大学経済学博士号取得 (PhD)。1982年より(西)ベルリンの社会科学研究所、そしてベルギーのルーヴァン大学で産業組織論、競争戦略論、国際経営学の学問領域で研究・教職に専念。2000年よりカリフォルニアのクレアモントカレッジに移り、「未来をつくる」イノベーションを起こすための実践的な授業を開講する。2009年にパサディナのアート・センター・カレッジ・オブ・デザインと共同でデザイン思考を企業戦略に取り入れるプログラムを創設する。現職はピーター・ドラッカー経営大学院教授。日本語の著書に『戦略の創造学—ドラッカーで気づき デザイン思考で創造し ポーターで実行する』『新しい顧客のつくりかた—見えない消費者をあなたのお客様に変える戦略』『15歳からの人生戦略—ドラッカー経営大学院教授の「未来をつくる授業」』(いずれも東洋経済新報社)がある。

アクセス

Co-startup Space & Community FUSE
静岡県浜松市中区鍛冶町100-1
ザザシティ浜松中央館 B1F

問い合わせ

Mail : info@fuse-hamamatsu.jp
担当 : FUSE / 神村・石井

申し込み

詳細・お申込みは
こちらから →

